

会 報 第26号

福 事 研

平成25年(2013年)3月15日発行

第15回 研究大会報告

第15回福事研研究大会が、平成24年12月14日(金)福岡市都久志会館を主会場に、会員及び、県外・教育関係者併せて554名の参加者が集い、開催されました。



開会行事の中で鬼塚会長は「教育行政機関と連携をはかりながら『共同実施』を推進するための環境整備を行い、学校事務の『見える化』を進めていく必要がある。また福事研として、学校事務職員が学校経営にどのように関わっていくべきか、将来的な展望を探りながら方向性を示していくために、『福岡県学校事務長期ビジョン検討委員会』を早期に立ち上げ、これからの学校事務のあり方に関する具体的なビジョンについて提案したい。」と挨拶を行いました。

次に、出席いただいたご来賓の皆様を紹介をおこない、代表して、福岡県教育委員会の緒方人事管理主事から「学校事務の共同実施については、学校事務職員、市町村教育委員会の理解を得て、積極的に取り組むこととしている。学校事務職員が主体的に学校経営に参画し、事務職員による効率的な教育活動支援が行われることにより学校組織が機能し、また家庭・地域社会の連携が図られることを期待している。」

福岡県小中特別支援学校事務職員研究会

事務局 柳川市立大和中学校

TEL 0944-76-4121

FAX 0944-76-4122

発行人 鬼塚 信也

とご祝辞をいただきました。また、この研究大会には、九州各県の事務研究会から多数のお祝いのメッセージをいただきました。

<出席いただいたご来賓>

福岡県教育庁教育企画部教職員課
人事管理主事 緒方 謙一 様

福岡県市町村教育委員会連絡協議会会長
春日市教育委員会
教育委員長 段 美穂子 様

福岡県中学校校長会幹事長
福岡市立城南中学校
校長 児嶋 徳隆 様

福岡県小学校校長会会長
福岡市立南当仁小学校
校長 田中 和隆 様

日本教育公務員弘済会福岡支部
参事 亀岡 靖 様

福岡県教職員互助会
専務理事 田中 和敏 様



記念講演及び分科会

研究大会午前中は、「学校事務職員と教育委員会」
— 自律的学校運営と事務局改革の協働 — の演題で、
春日市教育委員会 学校教育部長 工藤一徳氏による
記念講演が行われました。



講演の中で、工藤氏は、地方教育行政の現状や春日市での改革、学校事務職員と教育委員会との連携の必要性についてお話しされました。研究大会終了後のアンケートでは、「日頃から地教委との連携を考えていたので大変参考になった。」「大変励まされた、日々の仕事に活かしていきたい。」などの感想が多数ありました。講演全文やアンケート結果については、3月に発行予定の研究集録に掲載いたします。

午後は三つの会場に分かれ、それぞれのテーマに沿った分科会を開催しました。

第1分科会では「伝えよう、広げよう、あなたのアイデア」のテーマで、8名(組)の方からショート・プレゼンテーションがありました。事務職員のプレゼンテーション能力を高めることもこの分科会の趣旨の一つでした。参加者から「いろいろな発表が聞けて大変参考になった。今後も続けていただきたい」、「若い事務職員の発表が多く刺激になった。」という感想が多かったようです。

第2分科会は、会場を今回新たにクリスタルビルに設定し実施しました。「学校財務と共同実施」のテーマで柳川市と直方市から発表があり、柳川市からは共同実施や事務効率化ソフト・教育支援ソフトの活用を紹介しながら、その現状と課題が報告されま

した。直方市からは、学校諸費預り金の口座振替を教育支援に結びつけるということで、市教委にシステム導入を要望し、実現した取組について報告がありました。「他地区の取組を知ることができたので良かった。今後の結果も知りたい。」「事務処理ソフトは福事研HPで公開して欲しい。」などの感想や要望がありました。



第3分科会は「学校事務のこれからについて考えてみよう」をテーマに、昨年に引き続き佐賀市立城南中学校 事務長 古川 治 氏を招いて、対話形式で研修を進めました。



参加者から「歴史的に事務職員の仕事を分析しておられ、若い方たちには特に、現状をよく把握されたと思う。今後の学校事務を展望する上でも貴重な視点を教示してもらい、大変参考になった。」「聞いたかった話が聞けてよかった。私も、現状には満足できていません。もっと仕事を任せられ、認められるよう学校で頑張ろうと思います。」などの感想がありました。それぞれの分科会の詳細は、当日配布した研究集録をご覧ください。

平成 24 年度 全事研セミナーに参加して

柳川市立ニッ河小学校 立石 彩

平成 25 年 2 月 22 日、大田区民ホール・アプリコで行われた平成 24 年度第 19 回全事研セミナーに参加させていただきました。午前中は、講義Ⅰとして、文部科学省初等中等教育局の伯井美德財務課長による行政説明があり、文科省関係の平成 24 年度補正予算の概要や来年度の予算案のポイントについて詳しく説明がありました。

午後は、今年 8 月に開催される全事研「石川大会」の紹介や、全事研活動・委託事業報告の後、講義Ⅱとして、九州大学大学院准教授の元兼正浩氏による「学校マネジメントの展開と学校事務」と題した講義がありました。元兼先生の話は大変参考になりました。「学校事務」や「学校のプレゼンス」を自分自身に問い、学校マネジメントが何故必要なのかを客観的に捉えることができたと思います。



休憩後、元兼正浩先生、福事研でも講演いただいた春日市教育委員会工藤一徳学校教育部長、横浜市立潮田小学校佐藤隆章校長の三人をシンポジストとして「これからの学校の在り方と学校経営戦略」をテーマにシンポジウムが開かれました。工藤部長から、市教委と学校事務との連携についての話があり、話を聞いて私は、仕事を与えられるだけの事務職員ではなく、マクロ的視点で市教委と連携してシステム改革をしていくような事務職員が必要とされているということが分かりました。佐藤隆章先生は、荒れていた学校の立て直しについて、実体験を交えて話をされました。その中で学校の施設設備を改善することで、十分効果があったということでした。学

校の施設設備を担当している事務職員として、教育環境を是正することが重要だと感じました。また、情報の共有も大切だと話されました。私の学校では全職員が一同に会する機会はほとんどないので、職員会議の時間を有効活用していきたいと思います。

事務の効率化を推進することで、今まで事務作業にかけていた時間が短縮され、他のことに回せる時間もできると思います。今回セミナーに参加して、その時間を、どのように使うのが重要だと思いました。例えば、その時間に子供へ積極的に関わって、直接的な教育支援をするのか。あるいは施設や備品を細かくチェックし、更なる学校環境の改善に時間を充てるのか。また、市内の共同実施グループに提供できる事務ソフトの開発など、一つ上のマクロ的な事務の改善をしていくのか。市教委と新しいシステムの構築に取り組み、超マクロ的な学校行政の改善を試みるのか。どれが私の目指す学校事務なのか、まだはっきりとは答えができません。これから様々な事例、様々な学校を経験する中でつかんでいきたいと思っています。

福岡県学校事務の長期ビジョン検討委員会

福事研として、学校事務の中長期的なビジョンを協議する標記検討委員会の初会合が、平成 25 年 2 月 14 日(木)に開催されました。初回協議においては、以下のとおり組織の決定及び当面の協議の進め方等について確認を行いました。

1 組織

・正式名称

「福岡県学校事務の長期ビジョン検討委員会」

・委員長

福事研会長が兼務する。

・委員の構成

別表委員名簿のとおり

(ただし、京築及び北筑後教育事務所管内並びに福岡市の委員については、後日選出予定)

2 当面の協議の進め方と議論のポイント

(1) 当面の協議の進め方

次回会合において、検討委員それぞれが、現時点でイメージしている福岡県の学校事務の長期ビジョン案（学校事務のあり方、学校事務職員の将来像等）を協議のたたき台として提出し、その内容を踏まえた上で、今後の協議題を設定して議論を進めていくこととしました。

(2) 協議予定の議論のポイント

- ・福岡県の学校事務の現状分析と課題の把握
- ・長期ビジョン検討に係るテーマ設定とテーマ毎の作業部会の設置
- ・各種資料収集の件
- ・全事研熊本大会分科会発表の件

福岡県 学校事務の長期ビジョン検討委員名簿
(2013.2.14現在)

区分	氏名	地区名	所属
福事研会長 (委員長)	鬼塚 信也		柳川市立 大和中学校
研究特別委員	武原 寛		大野城市立 大野北小学校
研究特別委員	野村 明告		福岡市立 友泉中学校
研究特別委員	武本 篤		北九州市立 二島小学校
研究特別委員	馬原 伸司		添田町立 中元寺小学校
研究特別委員	堀 典子		久留米市立 合川小学校
研究特別委員	野見山 佑		嘉麻市立 牛隈小学校
会員代表委員	石川 健一郎	福岡	古賀市立 古賀東中学校
会員代表委員	神谷 博重	北九州	岡垣町立 海老津小学校
会員代表委員	谷口 美奈	南筑後	八女市立 黒木西小学校

第3回 拡大研究推進委員会

3月4日(月)都久志会館において、各支部代表者による第3回拡大研究推進委員会が開催されました。

鬼塚会長の挨拶、経過報告の後、池田役員選考委員長から平成25年度役員推薦の提案があり、原案どおり承認されました。

次に研究部から24年度研究大会の評価と平成25年度以降の在り方についての説明、野村副会長から2月22日(金)に開催された「全事研セミナー」の環流報告がありました。経過および今後の予定は下記のとおりです。



経過報告及び今後の予定

H 24 10 5 (水)	第4回研究推進委員会(理事会)
H 24 10 5 (水)	第5回研究特別委員会
H 24 10 20 (土)	第1回役員選考委員会
H 24 11 9 (金)	第6回研究特別委員会
H 24 12 6 (木)	第5回研究推進委員会(理事会)
H 24 12 6 (木)	第7回研究特別委員会
H 24 12 14 (金)	第15回研究大会
H 25 1 19 (土)	第2回役員選考委員会
H 25 2 6 (水)	第6回研究推進委員会(理事会)
H 25 2 14 (木)	長期ビジョン検討委員会
H 25 2 14 (木)	第8回研究特別委員会
H 25 2 16 (土)	第3回役員選考委員会
H 25 2 21 (木)	全事研評議員会
H 25 2 22 (金)	全事研セミナー
H 25 3 4 (月)	第3回拡大研究推進委員会 (支部評議員会)
H 25 4 20 (土)	第1回研究推進委員会 (理事会・監事会)
H 25 5 10 (金)	第2回研究推進委員会(理事会)
H 25 5 22 (水)	第1回拡大研究推進委員会 (支部代表者会)
H 25 6 14 (金)	第2回拡大研究推進委員会 (第15回総会)

広報部より

◇理事・広報部として何もわからないまま1年過ぎました。

来年はもう少し役に立てるようがんばりたいと思います。

(小早川) ◇はじめて広報部になり、まだまだ慣れませんが、福事研のよさを伝えられるように、がんばりたいと思

います(竹本) ◇ようやく2回目の会報ができました。来

年度は3回ぐらい発行できればいいのですが(三小田)